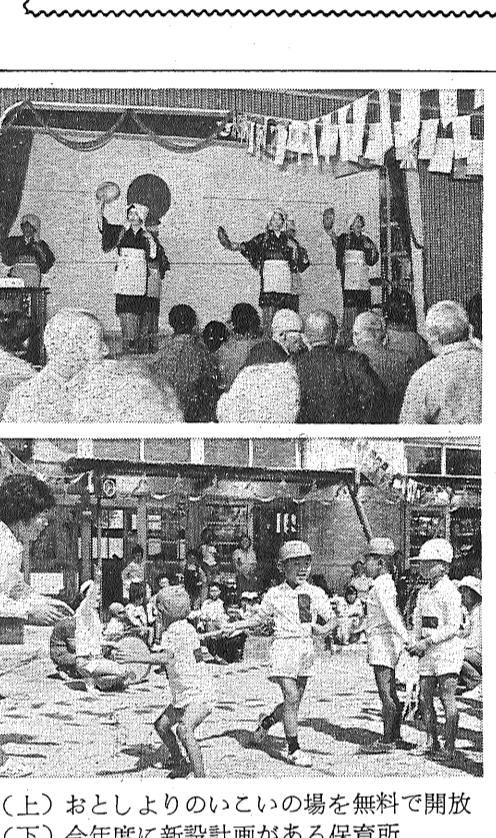
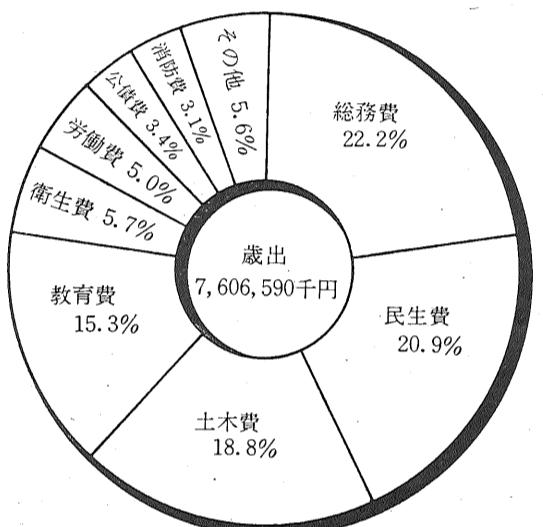
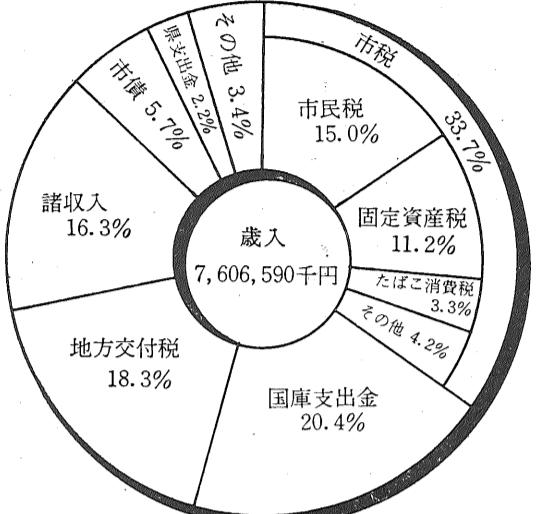


住みよい生活環境づくりなど

昭和48年度当初予算のあ

収入の中味と予算の使いみち



(上) おとよりのいこいの場を無料で開放
(下) 今年度に新設計画がある保育所

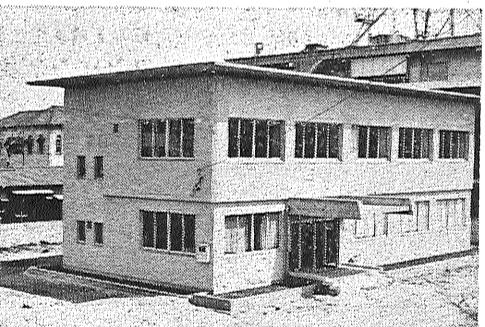
- ▷ 昭和48年度の市政の方向や重要案件を審議する3月定例市議会が3月7日から24日までの会期で開かれ、当初予算案など61議案が審議、可決されました。
- ▷ 昨年同様マスター・プラン第2期実施計画の線に沿って福祉政策、住みよい生活環境づくり、社会資本の整備充実などを目標にした昭和48年度の当初予算は、
- ▷ 市税、地方交付税などの主財源については、現在の段階で見込みうる限りの収入を計上し、一方、歳出面では新庁舎建設着工、公共下水道事業の積極的推進

という二つの重点事業があり、特に区画整理にもなる総合的な都市基盤整備事業を促進。そのほか、従来からの施策である土木事業、教育の伸長など推進していきます。本年度の当初予算の規模は、一般会計約76億

百万円、企業会計約21億9千7百万円、総計

教育環境の整備充実と 市民スポーツの振興 市北部に小学校新設

（写真は赤松公民館）同規模のものを神野地区に建設します



（上）四百四十万円や備品費約四千

（下）小・中学校新設費用約四千

（左）四百四十万円や備品費約四千

（右）四百四十万円や備品費約四千

（左）四百四十万円や備品費約四千

（右）四百四十万円や備品費

